

自 2017年 4月 1日
至 2018年 3月31日

第 39 期
事 業 報 告 書

公益財団法人松尾芸能振興財団
東京都港区南青山6-1-3

I 事業の状況

2017年4月1日より2018年3月31日までの間の当財団第39期の芸能振興事業は、次の通りである。

1.第39回松尾芸能賞選考経過

前回と同様、2017年12月より2018年2月にわたり、文化庁文化財部伝統文化課のご指導のもとに選考委員9名による選考委員会において検討を重ねた結果、各種部門候補者計29名のうちより、受賞候補者は8名に絞られた。

その後、更にこれを最終検討の上、理事会に諮って下記の通り第39回松尾芸能賞受賞者の承認決定が行われたので、2018年2月15日にその正式発表を行った。

第39回 松尾芸能賞受賞者

○大賞	(演劇)	坂東 玉三郎
○優秀賞	(舞踊)	猿若 清方
	(能楽)	藤田 六郎兵衛
	(歌謡)	森 昌子
○新人賞	(舞踊)	嘉数 道彦
	(演劇)	尾上 右近
○特別賞	(演劇)	高田 次郎
○功労賞	(舞台技術)	坂入 清子

2. 第39回松尾芸能賞贈呈式並びに祝賀会

前項記載の第39回松尾芸能賞受賞者各氏に対する贈呈式並びに祝賀会は、下記の通り行われた。

日 時：2018年3月28日(水) 午後6時より
贈呈式並びに祝賀会
場 所：帝国ホテル東京/「富士の間」
出席者：文化庁、理事、監事、選考委員、評議員、各受賞者のほか、各界招待者約280名

3. 女性による伝統芸能の伝承 自主公演の実施

伝統芸能の世界における女性のポテンシャルを引き出し、活路を見出すことを目指し昨年度に続き第2回公演を実施した。

日 時：2017年11月17日(金) 昼公演 午後12時開演 夜公演 午後6時開演
11月18日(土) 昼公演 午後12時開演
場 所：向島料亭 櫻茶ヤ
構 成：◇地唄「茶音頭」 舞 出雲蓉、三弦 川瀬露秋、箏 大坪正秋
◇曲弾き「関取千両幟」 鶴澤寛也
◇座敷芸「おはなし」 幫間 櫻川七好、三味線 浅草更代
◇義太夫「祝言三番叟」 舞 出雲蓉、浄瑠璃 人間国宝 竹本駒之助(17日)
竹本綾之助(18日)、三味線 鶴澤寛也 鶴澤津賀花
◇新内節「蘭蝶 新内流し」 弾き語り 新内多賀太夫、上調子 新内勝志壽

4. 松尾塾伝統芸能

2017年8月から9月、小学1年生から中学3年生を対象に2期生を募集した。6人の応募者から、書類選考、面接を経て1人を合格とし、10月に1人が入塾した。

その後、1期生から1人が退塾し、現在、小学3年生から中学3年生の12名が在塾している。

◇2017年4月から2018年3月まで稽古を実施した。

時 間：午前10:00から午後2:30(主に毎週日曜日)
場 所：松尾塾伝統芸能 東日本橋稽古場
回 数：51回
内 容：狂 言 小舞・謡・狂言
日本舞踊 女舞・男舞
長 唄 唄・三味線
鳴 物 小鼓・大鼓・太鼓

◇活動成果の発表の場として「第一回松尾塾伝統芸能 ～子供が挑む伝統芸能～」を実施した。

日 時:2017年8月9日(水) 午後2時開演
場 所:中央区立日本橋公会堂
演 目:日本舞踊「元禄花見踊」
連吟 「七つ子」
狂言 「痺」「盆山」
鳴物 「雛鶴三番叟」
長唄 「潮来」
長唄・鳴物 「末広狩」
賛助出演
狂言 後見:中村修一・内藤連
長唄 唄 :東音福田眞規・東音小林百合・東音真鍋希帆
三味線:東音塚原勝利・東音山内美穂・東音布施田千郁
鳴物 藤舎千穂・藤舎朱音・藤舎清穂・藤舎夏実・堅田喜代実・
望月実加子・望月美沙輔

◇以下の催しにゲスト出演した。

催 し 名:こども伝統芸フェス2017日中伝統芸能交流公演
日 時:2017年8月26日(土)
場 所:成城ホール
演出演目:狂言「盆山」

催 し 名:江戸文化遺産講座&フェスティバル
日 時:2018年3月3日(土)
場 所:神田明神
出演演目:花魁道中(禿・新造)

5. 助成事業

日本独自の文化、芸能の保存及び向上に寄与することを目的とし、日本伝統芸能の振興、継承を目指す下記の個人、または団体に助成をした。

◇和楽の美	伝統芸能活動分野
◇お笑い浅草21世紀	伝統芸能活動分野
◇六甲丹生かぶき	地域の芸能振興分野
◇沢竜二事務所 劇団竜劇隊	教育助成金